

野木小っ子放課後子ども教室

実績報告

< 6 / 26 >

実施内容：おにぎり作り、新聞遊び

指導者：スタッフ13名

参加児童：47名

日 程：14：30～15：20 宿題
15：20～16：45 ① おにぎり作り
② 新聞遊び
16：45～17：00 帰りの用意、解散

< 7 / 17 >

スタッフ研修

13：00～14：00

講 話：教室に関わるスタッフとしての心構え

講 師：下都賀教育事務所 河原千枝 社会教育指導主事

参 加 者：スタッフ10名、公民館職員3名

放課後子ども教室

実施内容：製作（ぶんぶんゴマ）

指導者：講師1名、スタッフ10名、ボランティア2名

参加児童：31名

取材会社：下野新聞社、テレビ小山

日 程：14：30～15：00 宿題
15：00～16：45 ① ぶんぶんゴマ作り
② ぶんぶんゴマで遊ぼう
16：45～17：00 帰りの用意、解散

< 9 / 18 >

実施内容：手話、手話の歌

指導者：講師1名、スタッフ7名、ボランティア2名

参加児童：47名

日程：14：30～15：00 宿題

15：00～16：45 ① 手話であいさつ

② 指文字

③ 手話で自分の名前と自己紹介

④ 手話で歌う

⑤ 手話による伝言ゲーム

16：45～17：00 帰りの用意、解散

< 10 / 16 >

実施内容：押し花カード作り

指導者：講師1名、スタッフ8名、ボランティア2名

参加児童：46名

見学者：町議員

日程：14：30～15：00 宿題

15：00～16：45 ① 押し花カードづくり

② 自由遊び

③ 発表会

16：45～17：00 帰りの用意、解散

< 1 1 / 1 3 >

実施内容：レクスポーツ

指 導 者：スポーツ推進指導員 3 名、スタッフ 8 名、ボランティア 2 名

参加児童：4 5 名

日 程：1 4：3 0～1 5：0 0 宿題

1 5：0 0～1 6：4 5 ① 体操

② 脳トレ

③ 風船送り

④ 風船バレー

⑤ ボール遊び（パスリレー、サッカー）

⑥ ストレッチ

1 6：4 5～1 7：0 0 帰りの用意、解散

< 1 2 / 4 >

実施内容：おにぎり喫食、ハンドベル体験

指 導 者：ハンドベルサークル 9 名、スタッフ 1 2 名

参加児童：4 9 名

見 学 者：野木区長

日 程：1 4：3 0～1 5：3 0 おにぎり喫食、宿題

1 5：3 0～1 6：4 5 ① ハンドベル鑑賞

② ハンドベル体験

1 6：4 5～1 7：0 0 帰りの用意、解散

< 1 / 2 9 >

実施内容：カレーライス喫食、お楽しみ会

指 導 者：スタッフ 1 2 名、ボランティア 2 名

参加児童：5 2 名

日 程：1 4：3 0～1 5：0 0 宿題

1 5：1 0～1 5：4 0 カレー喫食

1 5：5 0～1 6：3 0 カルタ大会、○×クイズ

1 6：3 0～1 6：4 5 アンケート

1 6：4 5～1 7：0 0 帰りの用意、解散

事業評価

＜児童アンケートの結果＞ 1 / 2 9 実施			集計児童数	51	
			1～5年生	42	
設問		項目	選択数	割合(%)	
1	楽しかった活動は何ですか？	おにぎり、新聞	24	47	
		ぶんぶんゴマ	21	41	
		手話	16	31	
		押し花	27	53	
		レクスポーツ	30	59	
		ハンドベル	34	67	
		カレーライス	37	73	
		自由遊び	29	57	
2	お家でやってみましたか。	はい	41	80	
		いいえ	10	20	誰と
3	それはどんな活動ですか。	おにぎり作り	26	63	父母、祖母、兄弟姉妹
		新聞遊び	7	17	母、祖母、兄弟姉妹
		ぶんぶんゴマ	18	44	母、祖母、兄弟姉妹、友達
		手話	17	41	母、友達
		押し花	5	12	母、祖母
		レクスポーツ	8	20	父、友達
		ハンドベル	2	5	一人
		カレーライス	11	27	父母、祖母、兄弟姉妹
		自由遊び	23	56	父母、兄弟姉妹
4	お家の方に話しましたか。	はい	46	90	
		いいえ	5	10	
5	他学年の友達と 仲良く活動しましたか。	はい	50	98	
		どちらも	1	2	
		いいえ	0	0	
6	講師やスタッフに感謝の気持ちを こめてあいさつができましたか。	はい	47	92	
		いいえ	4	8	
7	来年も放課後子ども教室に 参加したいですか。(1～5年)	はい	40	95	
		いいえ	1	2	
		無答	1	2	
8	＜今後やってみたいこと＞ お絵かき、ゲーム、外遊び、スタッフとドッジボール、鬼ごっこ、ドッジ ビー、猫とネズミ、風船バレー、ダンス、歌、アウトドアスポーツ、的当て、 ぬいぐるみづくり、味噌汁づくり、マフラーづくり、学校かくれんぼ、サブラ イズイベント、中線ふみ、縄跳び、フラフープ、宿題全部、押し花、おにぎ り、自由遊び、レクスポーツ、映画鑑賞、ハンドベル、○×ゲーム、モノづく り、段ボールハウスづくり、調理、サッカー、音楽会、いろいろな楽器を演奏 したい（合奏）、編み物、スライムづくり、大きい紙にみんなで絵を描く、 カードゲーム、人狼、写し絵、塗り絵、カレーづくり				

<スタッフアンケートの結果> 1月実施

1 子ども達と関わり合う中で、うれしかったことや楽しかったこと。

- ・子ども達と会う機会が少ないので、放課後子ども教室で会ったり学校外で声をかけてくれたりすることがうれしかった。
- ・遊びやモノづくり、スポレクで一緒に活動したことが楽しかった。
- ・低学年の子ども達が「一緒に遊びたい」と言ってくれたことや「先生」と言ってくれたこと。
- ・「おにぎり美味しかった。また食べたい。」と喜んでくれたことがうれしかった。
- ・自分のことを覚えてくれて毎回笑顔で話しかけてくれることや自分の子どもとは違う学年の子とかかわりを持てたこと。
- ・スタッフに素直に宿題の分からないところや活動時の補助を求めて聞いてくれること。
- ・おにぎり体験が家庭でも実践されたという話を聞いて「やってよかった」とうれしく思った。
- ・学年を超えて助け合う姿は微笑ましく心が温まった。

2 子ども達と関わり合う中で苦労したことや困ったこと。

- ・様々な年齢、能力、性格があり対応が難しかった。
- ・どこまでかかわるのかわからなくて困った。
- ・落ち着きのない子どもがいて目を離せなく付きっきりでいなければならないことが大変だった。
- ・拗ねてしまったり、やる気がなくなってしまう子どもへの対応が難しかった。
- ・高学年の子ども達の対応や言葉かけに気を使った。
- ・次の行動、活動が分からなくて困ったことがあった。
- ・空き時間の声掛けや飽きさせない工夫が難しかった。
- ・子ども同士でもめているときやテンションが上がって收拾がつかなくなった時の対応。

3 新たにやってみたい活動

身体を使った遊びやゲーム、昔遊び、じゃんけんゲーム、音楽療法（キーボードによる演奏）、手品、ジェスチャー伝言ゲーム、クイズ、救急救命、化学実験、染め物、読み聞かせ、クリスマスツリー作り（折り紙など）、ボールを使った運動、伝統芸能（笛、太鼓など）、被災地ボランティアの方の話や被災地へのお手紙、地域の行事への参加、手伝い跳び箱教室、焼き芋、焼きマシュマロ、ALTの先生の国の遊び

4 スタッフとして感じたことや考えたこと

- ・上級生が下級生の面倒を見るなど、少しでも協調性が学べるとよいと思う。
- ・スタッフも楽しませていただき参加してよかった。
- ・保護者は迎えの時間を守ってほしい。（前日にメール配信するとよいかも）
- ・子どもたちの個性を大切にし、できたことは褒めてあげる。
- ・周りのスタッフの手際がよく臨機応変に対応してくれるなどありがたかった。
- ・子ども達の気持ちに寄り添い、数時間でも居場所となれることを忘れてはいけないと気付かされた。
- ・これからも自分に何かできることがあれば関わっていきたいと思う。
- ・もう少し子ども達とコミュニケーションをとり、安心できる存在になれるよう心がけていきたい。
- ・毎回子ども達が楽しみにしてくれてうれしかった。できれば親や海外の方とも交流したいと思った。
- ・もっと子ども達から集める（おにぎりの具、しおりの材料、防災の記事、折り紙など）ことがあってもよいのではないかと感じた。

＜学校アンケートの結果＞ 1月実施

- ・水曜日の実施については特に問題はありません。
- ・縦割りなかよし班で学年を超えて活動していますが、以前よりさらに仲良く助け合う様子が見られるようになりました。上学年が下学年に優しく接する姿もよく見られるようになった気がします。
- ・勤務時間が16：30までなので、日直の施錠確認を考えると16：30以降は体育館に移動してもらえるとよいかもしれません。

＜学童保育室アンケートの結果＞ 1月実施

- ・学童利用保護者の中には、学童のイベントだと思っている方がいて説明が必要な場面がありました。
- ・みんな楽しそうで、いろいろなことを体験できる場として良い取組だと思います。ただ、自分の興味のあることをしたくてつまらなかったという子もいました。しかし、「もっとやりたい」という声が多かったので、同じ内容で回を重ねるなどもあったらなあと思います。
- ・この取組は、地域で子ども達を見守ることが趣旨だと思いますが、先生方が様子を見にいらしてくださっていて大変ありがたかったです。先生方の負担を考えると、学校は今年度のような関わりで十分だと思います。
- ・開催曜日が一斉下校の水曜日で、それが一番良いかと思いますが、習い事のため参加したくてもできない子もいたようです。
- ・ハンドベル演奏、体験で参加した立場から、約50名の子ども達の体験はなかなか難しく問題点もありました。初めて手にした楽器に興味津々の子ども達を見ることができて良かったのですが、せっかくの体験を次に進めるきっかけになってもらえる子ども教室になってもらいたいと思っています。

<成果と課題>

【放課後子ども教室の活動から】

- 回を重ねるごとにスタッフの子ども達への対応が円滑になってきた。
- 材料等念入りに準備していただけたので、活動がスムーズだった。
- 活動する場面を多く取り入れたので、集中して取り組める子が多かった。
- 落ち着かない子に対してスタッフが手厚く対応していた。
- 学年による宿題量や体験活動の完了状況に差があるため、次の活動との間に自由遊びを取り入れたことでうまくつなげられた。
- 上学年の児童が下学年の児童の面倒をよく見てくれているので、縦割り班で活動することは効果的であった。
- 発表の場や見せ合う場を設けたことで、仲間に認められ意欲の高まった子も多かった。
- △一斉での活動は集中力が散漫になるので、グループ分けしてスタッフを配置した方が、より円滑な活動ができると考えられる。
- △自由席は落ち着かないので、意図的に席を決めた方がよかった。
- △常にマイクを準備して、必要に応じて利用した方がよかった。

【児童、スタッフ、学校、学童保育室アンケートの結果から】

- 多くの子ども達が楽しく取り組めた。
- 上学年が下学年の面倒をよく見るなど、子ども同士の関係がさらに深まった。
- スタッフに感謝の気持ちを伝えるなど、良好な関係を築くことができた。
- 帰宅後の様子から、活動を通して家族や友達との交流が深まる様子が見られた。
- 80パーセント以上の子が体験したことを家庭で再度取り組み、90パーセント以上が家庭で話題にしたりするなど、経験したことが生きた知識として定着する様子が見られた。
- スタッフの意欲や関心がさらに高まり、新たな取り組みを考えたり、より一層子ども達に向き合っていきたいと考たりする様子が見られた。
- △学校施設を借用する関係から、16：30～17：00までの過ごし方を再度検討した方がよい。
- △放課後子ども教室の趣旨と取組について、保護者に対して十分な周知を図った方がよい。
- △毎月水曜日だと、習い事の関係で参加したくても参加できない子がいるので、教室の持ち方を再度検討してみるとよい。
- △体験したことを家庭で話題にしたり取り組んだりしていない子が10～20%いるので、さらに子ども達の興味関心を高め、知りたい、やってみたい、他に伝えたいと思わせるような取り組みを今後も考えていくとよい。
- ・放課後子ども教室での体験をもとに、さらにステップアップするきっかけにしてほしい。